



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年10月9日

上場会社名 株式会社プログリット 上場取引所 東
 コード番号 9560 URL http://www.progrit.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 谷内 亮太 E-mail ir@progrit.co.jp
 定時株主総会開催予定日 2025年11月26日 配当支払開始予定日 2025年11月27日
 有価証券報告書提出予定日 2025年11月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の業績(2024年9月1日~2025年8月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	5,747	29.1	1,202	45.9	1,207	47.8	888	45.7
2024年8月期	4,453	47.3	824	65.8	817	65.7	610	69.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	71.15	69.80	43.9	28.9	20.9
2024年8月期	49.89	47.83	42.4	25.1	18.5

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	4,486	2,280	50.4	182.57
2024年8月期	3,886	1,796	46.0	143.25

(参考) 自己資本 2025年8月期 2,261百万円 2024年8月期 1,787百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	907	△189	△344	3,415
2024年8月期	1,077	△82	71	3,041

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	0.00	—	13.00	13.00	162	26.6	9.0
2025年8月期	—	0.00	—	19.00	19.00	235	26.7	11.7
2026年8月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00		28.1	

3. 2026年8月期の業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	23.5	1,420	18.1	1,424	17.9	967	8.8	78.10

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年8月期	12,662,911株	2024年8月期	12,480,480株
2025年8月期	276,868株	2024年8月期	368株
2025年8月期	12,490,623株	2024年8月期	12,228,460株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手について）

当社は、2025年10月9日（木）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会のほかにも、当社では個人投資家のみなさま向けに、定期的に事業・業績に関する説明会を開催していきます。この説明会で配付する資料および主な質疑応答は、開催後速やかに当社ウェブサイトで掲載する予定です。今後の開催の予定等については、当社ウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(表示方法の変更)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における当社を取り巻く経営環境につきましては、雇用情勢及び所得水準の改善やインバウンド需要復調等が景気の追い風となる一方で、円安影響による原材料価格や光熱費の上昇、人件費の増加等による物価高継続や、不安定な世界情勢や為替変動等の影響により、不透明な状況が続いております。

しかしながら、英語学習市場につきましては、少子高齢化による国内市場の先行きへの懸念を持つ企業の海外進出意欲が衰えておらず、グローバル人材の育成・確保に必要な英語学習への関心が依然として高いことに加え、福利厚生の一環として英語学習を取り入れる企業も出てきていることから、今後も引き続き市場全体が堅調に推移していくものと見ております。

また、生成AIの発展に伴い、英語学習業界も大きく変わることが予想されます。生成AIを如何にうまく活用し、英語学習の効率アップや体験向上を実現できるかが、今後の鍵になってくるものと思われまます。また、当社が参入をいたしましたAI英会話サービス領域においては、AIの精度による差別化は難しいと考えており、UIUXの磨き込みが競争のポイントになってくると想定しております。そして、テクノロジーの変化に関わらず英語学習で成果を出すためには、学習時間の最大化が欠かせない要素であるため、コンサルタントが行う伴走型のサポートの重要性は引き続き高いと考えております。

このような環境の中、当社におきましては、英語コーチングサービス「プログリット」において、集中学習によって飛躍的に英語力を向上させるために、①英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、②顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、③利便性の高い学習アプリによる学習環境、という主に3つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。

また、リスニング力向上に有効なシャドーイングに特化したサブスクリプション型の英語学習サービスである「シャドテン」は引き続き学習コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等による平均継続期間の増加等により、有料課金ユーザー数は堅調に推移しており当社の収益基盤として順調に成長しております。

前事業年度においてローンチしたスピーキング特化型サービス「スピフル」およびAI英会話サービス「ディアトーク」については、それぞれ順調に事業を推進しております。スピフルは、スピーキング力向上に不可欠な口頭英作文(注1)と独り言英会話(注2)を実践し、AI添削による振り返りを行うサブスクリプションサービスとして着実にユーザー数を拡大し、事業として立ち上がりつつあります。ディアトークは、AI講師が学習者の興味関心や近況を分析・記憶し最適な英会話実践の場を提供するサービスであり、現在は機能改善や新規開発を行っており今後の成長に向けて展開を図っております。

以上の結果、当事業年度の売上高は5,747,514千円(前事業年度比29.1%増)、営業利益は1,202,969千円(前事業年度比45.9%増)、経常利益は1,207,798千円(前事業年度比47.8%増)、当期純利益は888,763千円(前事業年度比45.7%増)となりました。

なお、当社は英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(注) 1. 口頭英作文：日本語の文章を瞬時に英語に変換し、発話するトレーニングです。

2. 独り言英会話：自身で選んだお題について1分間英語でスピーチを行うトレーニングです。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は4,486,002千円となり、前事業年度末に比べ599,583千円増加しました。これは主に、現金及び預金が373,683千円、敷金が97,118千円、工具、器具及び備品(純額)が35,493千円、売掛金が31,789千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は2,205,269千円となり、前事業年度末に比べ115,333千円増加しました。これは主に、長期借入金が80,334千円、未払法人税等が54,684千円、未払費用が33,276千円の増加、賞与引当金が89,408千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は2,280,733千円となり、前事業年度末に比べ484,250千円増加しました。これは資本金が23,396千円、資本剰余金が23,396千円、当期純利益により利益剰余金が888,763千円増加し、配当金の支払いにより利益剰余金が162,241千円減少し、自己株式の市場買い付けにより自己株式が299,877千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.4%(前事業年度末は46.0%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より373,683千円増加し、3,415,606千円となりました。当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた現金及び現金同等物は、907,116千円(前事業年度は1,077,384千円の収入)となりました。主な要因といたしましては、税引前当期純利益1,207,798千円の計上、賞与引当金の減少89,408千円、法人税等の支払額295,974千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した現金及び現金同等物は、189,347千円(前事業年度は82,873千円の支出)となりました。主な要因といたしましては、敷金の差入による支出146,905千円、有形固定資産の取得による支出60,755千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した現金及び現金同等物は、344,085千円(前事業年度は71,768千円の収入)となりました。要因といたしましては、自己株式の取得による支払額302,536千円、配当金の支払額161,988千円、長期借入れによる収入170,000千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

近年、オンライン会議ツールの利用定着やAI技術の急速な進展により、英語を活用する場面やリスキングへの関心は引き続き高まりを見せております。そのため、英語学習ニーズは今後も緩やかに回復傾向を継続するものと考えます。また、ビジネスにおいて人を動かすための熱量を自らの言葉で直接伝えることの重要性が失われることは当面なく、ビジネスシーンを意図した英語学習へのニーズは今後も堅調に推移するものと見込んでおります。当社としましては、積極的なマーケティング活動を通じた認知向上・指名検索の獲得数拡大を図ると共に、従業員育成・福利厚生の一環として英語学習の導入を検討する法人企業のニーズを的確に捉えた法人向けの「プログリット(PROGRIT)」の導入拡大を推進いたします。

さらには、高単価な短期集中の英語コーチングサービスでのシェア拡大を目指すとともに、ターゲット顧客層の拡大及び既存顧客の顧客生涯価値の最大化のために、中低価格帯のサービスであるサブスクリプション型の英語学習サービスにも注力いたします。

加えて、今後は無料で利用できるビジネス向け英単語アプリの提供を通じ、より多くの英語学習者との接点を持つ環境構築を推進いたします。それぞれの英語学習者が必要なタイミングで当社が提供するいずれかの英語学習サービスをご利用いただくことで、サービスポートフォリオ全体としての収益最大化を図ってまいります。

上記より、当社は2026年8月期の見通しについて、売上高7,100百万円(前事業年度比23.5%増)、営業利益1,420百万円(前事業年度比18.1%増)、経常利益1,424百万円(前事業年度比17.9%増)、当期純利益は967百万円(前事業年度比8.8%増)を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成する体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,041,922	3,415,606
売掛金	99,239	131,028
商品	18,127	16,358
貯蔵品	2,597	3,259
前払費用	66,765	86,693
その他	64,724	47,312
流動資産合計	3,293,377	3,700,259
固定資産		
有形固定資産		
建物	213,956	225,223
減価償却累計額	△64,724	△66,746
建物（純額）	149,231	158,477
工具、器具及び備品	22,333	62,205
減価償却累計額	△13,011	△17,390
工具、器具及び備品（純額）	9,321	44,815
有形固定資産合計	158,553	203,292
投資その他の資産		
投資有価証券	11,267	34,990
出資金	20	20
長期前払費用	354	730
繰延税金資産	175,453	202,199
敷金	246,592	343,711
その他	800	800
投資その他の資産合計	434,487	582,451
固定資産合計	593,040	785,743
資産合計	3,886,418	4,486,002

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,517	43,425
1年内返済予定の長期借入金	58,665	75,828
未払金	320,988	312,013
未払費用	148,424	181,700
未払法人税等	182,237	236,921
契約負債	938,034	941,736
預り金	24,195	31,481
賞与引当金	182,911	93,502
役員賞与引当金	14,600	—
その他	92,576	108,523
流動負債合計	1,990,151	2,025,133
固定負債		
長期借入金	93,380	173,714
資産除去債務	6,404	6,421
固定負債合計	99,784	180,135
負債合計	2,089,935	2,205,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	322,997	346,393
資本剰余金		
資本準備金	319,997	343,393
資本剰余金合計	319,997	343,393
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,145,240	1,871,763
利益剰余金合計	1,145,240	1,871,763
自己株式	△401	△300,279
株主資本合計	1,787,833	2,261,270
新株予約権	8,649	19,462
純資産合計	1,796,483	2,280,733
負債純資産合計	3,886,418	4,486,002

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	4,453,271	5,747,514
売上原価	1,253,423	1,492,186
売上総利益	3,199,847	4,255,327
販売費及び一般管理費	2,375,590	3,052,357
営業利益	824,257	1,202,969
営業外収益		
受取利息	226	4,356
ポイント還元収入	1,878	3,305
その他	2,810	1,903
営業外収益合計	4,915	9,565
営業外費用		
寄付金	10,000	—
支払利息	1,482	1,786
支払手数料	—	2,659
その他	585	290
営業外費用合計	12,067	4,736
経常利益	817,105	1,207,798
特別利益		
新株予約権戻入益	141	—
特別利益合計	141	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前当期純利益	817,247	1,207,798
法人税、住民税及び事業税	260,258	345,781
法人税等調整額	△53,146	△26,745
法人税等合計	207,112	319,035
当期純利益	610,135	888,763

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	280,101	277,101	277,101	535,105	535,105	△349	1,091,959	967	1,092,927
当期変動額									
新株の発行							—		—
新株の発行（新株予約権の行使）	42,895	42,895	42,895				85,790		85,790
新株予約権の失効								△141	△141
剰余金の配当							—		—
当期純利益				610,135	610,135		610,135		610,135
自己株式の取得						△52	△52		△52
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								7,823	7,823
当期変動額合計	42,895	42,895	42,895	610,135	610,135	△52	695,873	7,682	703,555
当期末残高	322,997	319,997	319,997	1,145,240	1,145,240	△401	1,787,833	8,649	1,796,483

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	322,997	319,997	319,997	1,145,240	1,145,240	△401	1,787,833	8,649	1,796,483
当期変動額									
新株の発行	11,817	11,817	11,817				23,634		23,634
新株の発行（新株予約権の行使）	11,579	11,579	11,579				23,159		23,159
新株予約権の失効									—
剰余金の配当				△162,241	△162,241		△162,241		△162,241
当期純利益				888,763	888,763		888,763		888,763
自己株式の取得						△299,877	△299,877		△299,877
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								10,812	10,812
当期変動額合計	23,396	23,396	23,396	726,522	726,522	△299,877	473,437	10,812	484,250
当期末残高	346,393	343,393	343,393	1,871,763	1,871,763	△300,279	2,261,270	19,462	2,280,733

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	817,247	1,207,798
減価償却費及びその他の償却費	24,656	49,833
株式報酬費用	7,563	34,663
寄付金	10,000	—
新株予約権戻入益	△141	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63,851	△89,408
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,600	△14,600
受取利息及び受取配当金	△226	△4,356
支払利息	1,482	1,786
売上債権の増減額 (△は増加)	△40,718	△31,789
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,868	1,108
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,996	15,907
未払金の増減額 (△は減少)	128,574	△31,316
未払費用の増減額 (△は減少)	62,921	33,276
前払費用の増減額 (△は増加)	3,191	△19,928
契約負債の増減額 (△は減少)	242,521	3,701
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26,378	15,459
その他	△47,094	28,383
小計	1,317,936	1,200,521
利息及び配当金の受取額	226	4,356
利息の支払額	△1,482	△1,786
寄付金の支払額	△10,000	—
法人税等の支払額	△229,296	△295,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,077,384	907,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,000	△23,996
有形固定資産の取得による支出	△55,240	△60,755
資産除去債務の履行による支出	—	△10,463
敷金の差入による支出	△27,633	△146,905
敷金の回収による収入	—	48,774
その他	4,000	4,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,873	△189,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	60,000	170,000
長期借入金の返済による支出	△74,231	△72,503
自己株式の取得による支出	△52	△302,536
配当金の支払額	—	△161,988
新株予約権の行使による株式の発行による収入	85,375	22,942
新株予約権の発行による収入	676	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,768	△344,085
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,066,278	373,683
現金及び現金同等物の期首残高	1,975,644	3,041,922
現金及び現金同等物の期末残高	3,041,922	3,415,606

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前事業年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「利子補給金」、「助成金収入」と「印税収入」は金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度においては「その他」に含めて表示しております。また、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取利息」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしました。これらの表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「利子補給金」969千円、「助成金収入」660千円、「印税収入」575千円および「その他」831千円は、「受取利息」226千円および「その他」2,810千円として組み替えております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	143.25円	182.57円
1株当たり当期純利益	49.89円	71.15円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	47.83円	69.80円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	610,135	888,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	610,135	888,763
普通株式の期中平均株式数(株)	12,228,460	12,490,623
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	527,683	242,396
(うち新株予約権(株))	(527,683)	(242,396)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。